

校名：上越教育大学附属中学校

所在地：〒943-0835 新潟県上越市本城町 6-2

電話番号：025-523-5313

記載日：平成28年 5月20日 記載者：長谷川 泰山

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

当校は、高田城址公園内の旧高田城二の丸跡に位置しています。春は桜、夏は蓮、秋は紅葉、冬は真っ白な雪と、豊かな自然に囲まれた学校です。

<合い言葉>

確かな学力 響く歌声 あふれる探求心

各教科における探究的な学習の設定、年2回の校内合唱コンクールなど音楽活動を中核とした心の教育の推進、大学との連携による研究活動の展開など、当地域の先進教育校としての役割を担い、義務教育校、教育実習校、研究校としての任務を果たしています。



貴校の卒業生の活躍状況について：

追跡調査は行っていません。

年1回8月に同窓会を行い、卒業生の様子や学校の現況などについて、全同窓生で情報交換を行っています。

同窓会に関する資料は、同窓会事務局である当校が保管しています。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

追跡調査は行っていません。

年1回12月に当校勤務経験者及び現職教員で組織する「同人会」を開催し、同人の方々の近況や学校の現況について、情報交換を行っています。

当校勤務経験者は、そのほとんどが教育委員会の指導主事、公立小・中学校の管理職などになっています。また、退職後も地域の教育関係機関に勤めたり、地域のリーダー的役割を担っていたりする方が多いです。

同人会に関する資料は、同人会事務局である当校が保管しています。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

<当校の研究 平成27年～30年 文部科学省 研究開発学校>

- ◆研究主題：持続可能な社会を創造し、自己を確立できる生徒の育成
- ◆新教育課程：既存の教科（9教科、道徳、特別活動）に加え、「グローバル人材育成科」を新設教科として設定。この「グローバル人材育成科」は、課題討論の時間、企画創造の時間、グローバルコミュニケーションの時間という3つの分野から構成され、これからの社会で求められる資質・能力を育成していく。

◆はぐくみたい資質・能力（アビリティー）

- 【情報統合力】：課題や目的に応じて、必要な情報を集め、まとめる力
- 【代替思考力】：課題の問題点や物事の本質を捉え直す力
- 【企画創造力】：周囲の状況や動向を予測しながら、みんなのためになる活動を創り出す力
- 【主体的実践力】：内容や活動を調整しながら率先して行動する力
- 【コミュニケーション力】：様々な考えや意見を認め合い、人やものとの関係を広げる力
- 【コラボレーション力】：進んで協力し合いながら、互いの目的を達成する力

◆「グローバル人材育成科」の活動 –10のステージ–（「特色ある行事」参照）

<1年生の活動>

- ステージ1 「仲間とよりよくかかわる①」 観桜会おもてなしプロジェクト 観察
- ステージ2 「様々な仲間と臨機応変にかかわる」 ドキドキキャンプ（1泊2日のキャンプを夏～秋にかけて3回実施）
- ステージ3 「地域の人たちや先輩に学ぶ」 地域貢献活動（本町商店街お手伝いプロジェクト）
- ステージ4 「『おもてなし』を考える」 観桜会おもてなしプロジェクト

<2年生の活動>

- ステージ5 「仲間とよりよくかかわる②」 妙高キャンプ（1泊2日のキャンプ、夏に実施）
- ステージ6 「『祭り』をつくる①」 文化祭
- ステージ7 「平和を考える」 沖縄への修学旅行

<3年生の活動>

- ステージ8 「仲間とよりよくかかわる③」 文化祭企画コンペティション
- ステージ9 「『祭り』をつくる②」 文化祭をプロデュース
- ステージ10 「今と未来を考える」 未来へつなぐプロジェクト（10のステージで学んだこと）

<先進のICT環境>

- ① 学習用iPad（iPad mini 4 64GB / Wi-Fi）
*各家庭の負担。学校と家庭で有効活用。
- ② 校内無線LAN，サーバー
*校内どこからでもインターネット接続可。
- ③ インタラクティブ・ホワイト・ボード
*各教室に設置。デジタル教科書も活用。
- ④ 校内ポータルサイト及びクラウドサービス
*いつでもみんなで情報共有。



特色ある行事（平成 28 年度）

*印 = 活動内容を一部変更する企画 または新企画

- 4 月 入学式
観桜会おもてなしプロジェクト（2年）
生徒総会
- 5 月 教育実習
春の合唱コンクール
- 6 月 上越合同各種大会
第1回定期テスト
上越地区各種大会
- 7 月 **泊**ドキドキキャンプ①（1年）*
泊サバイバルキャンプ（2年）*
県総合体育大会



観桜会のお客様をおもてなし、地域振興の在り方を考えます。



伝統の「響く歌声」。年2回の合唱コンクールで深める学級の絆。



地層観察や松代大本営跡地見学など、自ら体験・経験をする学びをとおし、物事の本質を追求しようとする態度を育てます。



全4回のキャンプで、グローバル人材に必要な力を高めます。



全校が3軍に分かれての応援合戦は、大迫力です。生徒が主体となって自らプロデュースする体育祭は格別の達成感があります。



スキーや雪洞づくりを楽しむ体験を通して、雪国上越の地域人として雪国の生活を積極的に味わいます。

- 8 月 **泊**ブリティッシュヒルズ研修（希望者）*
泊ドキドキキャンプ②（1年）*
わくわく大学デー（3年）*
- 9 月 桜城体育祭
松代訪問学習（2年）・地層観察（1年）
- 10月 上越合同新人各種大会
泊ドキドキキャンプ③（1年）*
本町商店街おもてなしプロジェクト（1年）
教育研究協議会
- 11月 **泊**アメリカ アイオワ研修（希望者）*
第2回定期テスト
桜城文化祭*・秋の合唱コンクール*
- 12月 生徒会役員選挙

- 1 月 **泊**スキー学習（1年）
泊雪洞体験スキー学習（2年）
- 2 月 第3回定期テスト
生徒総会
- 3 月 卒業式
泊沖縄修学旅行（2年）



戦争の悲惨さを学ぶだけでなく、現在の沖縄が抱える問題を現地の様々な人々と関わり合いながら考えることをとおして、真の平和とは何かを追求します。

＜大学との連携＞

上越教育大学から、様々なサポートを受けて、特色のある教育活動を展開しています。

【わくわく大学デー】

大学の先生による中学生向けの実験や実習などを取り入れた集中講座を行っています。

●開設講座テーマ例

「なでしこ JAPAN につづけ！！～暑さに負けない体づくり～」

「日本語の発音を知ること英語の発音を上達させよう！」

「戸棚付本立てをつくろう」

「動きのコツのつかみ方」(スポーツ運動学)

「良好な人間関係作りに生かすカウンセリング心理学」 など

【教育相談】

大学の心理学専門の先生方から、子どもの悩みや保護者の皆様の悩みに対してアドバイスをいただいています。

【放課後自主学習】

大学院生や学部生のボランティアから、木曜日の放課後に学習支援をしてもらっています。



わくわく大学デーの一コマ

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

次のように当校の研究を広く紹介し、地域の先進教育校として注目を浴びています。

- ① 年1回 10月教育研究協議会を開催。毎年、県内外の教育関係者 500人を越える参会者。
- ② 各教科等において授業公開を実施。近隣の公立中学校教員が参観。

県教育委員会との連携

- ① 新採用研修として、新採用者が当校の授業を参観。道徳授業について研究協議実施。
- ② 12年目経験者研修として、当校の授業を参観。研究協議を実施。

市町村教育委員会との連携

- ① 市町村委員会主催の各種研修会に当校教員が講師として参加。
- ② 市町村委員会主催の各種研修会に当校職員も参加。当校の研究についてPR。

このように、地域の中であって、当校は先進教育校として、各教科等のリーダー的存在として大きな期待を集めています。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

上記のように、当校は先進教育校として、各教科等のリーダー的存在として、地域の学校及び教育委員会から大きな期待を寄せられています。また、当校勤務経験者の多くが各教育委員会の指導主事として、公立各学校の管理職として勤務しており、地域の教育界のトップリーダーとして活躍しています。

さらに、公立中学校ではできない大学との連携による教育研究の推進、豊かな教育環境、充実した教育設備（特にICT環境）等による先進的な取組は、地域の公立学校や地域住民からも大きな注目を浴びています。

地域の先進教育トップ校として、当校の存在意義は大きいものがあるととらえています。